




Dell™ 7609WU プロジェクタ  
ユーザーガイド

## メモ、注意、警告

-  **メモ:**「メモ」は、プロジェクタの使用に際して役立つ重要な情報です。
-  **注意:**「注意」は、ハードウェアの破損やデータの損失を防ぐ方法について記載しています。
-  **警告:**「警告」は、物的損害、人的傷害、もしくは死につながる潜在性を意味します。

---

本書の内容は予告なく変更されることがあります。  
© 2008 Dell Inc. All rights reserved.

Dell 社の書面による許可なく、いかなる方法にせよこれらの資料の複製は、厳禁します。

本書で使用されている商標: *Dell* および *DELL* のロゴは Dell Inc. の商標です、*DLP*、*DLP*® のロゴおよび *DarkChip*™3 は Texas Instruments の商標です、Microsoft および Windows は米国およびその他の国における Microsoft Corporation の登録商標または商標です。

本書で使用されているその他の商標および製品名はそれぞれの所有者に帰属しています。Dell Inc. は他社の所有する商標や製品名の所有権をすべて放棄します。

**モデル 7609WU**

**2008 年 4 月 改訂 A00**

# 目次

1	プロジェクタについて	6
	プロジェクタについて	7
2	プロジェクタの接続	8
	<b>コンピュータの接続</b>	<b>9</b>
	VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続	9
	RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続	10
	イーサネットケーブルを使ったコンピュータの 接続	11
	DisplayPort ケーブルを使ったコンピュータの 接続	12
	VGA ケーブルを使用してループする一接続を モニタしてください	13
	<b>DVD プレーヤーの接続</b>	<b>14</b>
	S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの 接続	14
	コンポジットケーブルを使った DVD プレーヤー の接続	15
	コンポーネント (VGA 対 YPbPr) ケーブルを 使った DVD プレーヤーの接続	16
	コンポーネント (YPbPr - YPbPr) ケーブルを 使った DVD プレーヤーの接続	17
	HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの 接続	18
	<b>プロフェッショナル向け取り付けオプション</b>	<b>19</b>
	ドライビング自動スクリーンの取り付け	19
	商用 RS232 コントロールボックスの接続	20

3	プロジェクタの使用方法	21
	プロジェクタの電源を入れる	21
	プロジェクタの電源を切る	21
	投影画像の調整	22
	プロジェクタの高さを上げる	22
	プロジェクタの高さを下げる	22
	プロジェクタのズームとフォーカスの調整	23
	投影画像サイズの調整	24
	コントロールパネルの使用方法	25
	リモコンの使用方法	27
	オンスクリーンディスプレイの使用方法	29
	メインメニュー	29
	入力選択	29
	自動調整	30
	設定	31
	ピクチャ (PC モード)	34
	ピクチャ (ビデオモード)	35
	表示 (PC モード)	36
	表示 (ビデオモード)	37
	PIP 設定	38
	ランプ	39
	言語	40
	その他	41
4	プロジェクタのトラブルシューティング	45
	ランプの交換	49

5	仕様	51
6	Dell™ へのお問い合わせ	57
7	付録：用語集	58

## プロジェクタについて

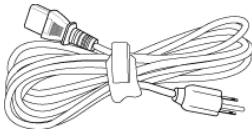
プロジェクタを接続する前に、必要なコンポーネントがすべて揃っていることを確認してください。プロジェクタには、以下に示すコンポーネントが付属しています。コンポーネントが足りない場合、Dell ("Dell™ へのお問い合わせ" ページの 57 を参照) にご連絡ください。

---

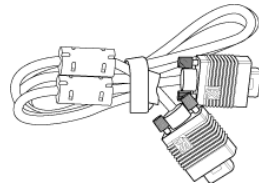
### 同梱されているもの

---

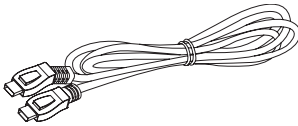
電源ケーブル



1.8m VGA ケーブル (VGA - VGA)



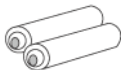
2.0m DisplayPort ケーブル



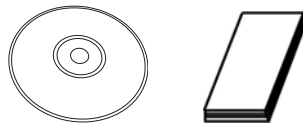
リモコン



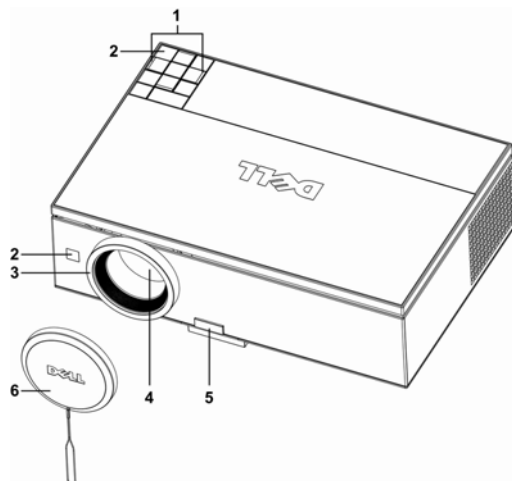
単 4 電池 (2)



CD ユーザーガイドおよびドキュメント




## プロジェクタについて



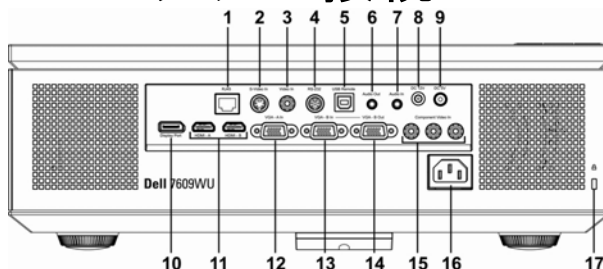
1	コントロールパネル
2	IR レシーバ
3	フォーカスリング
4	レンズ
5	エレベーターボタン
6	レンズキャップ

### 注意：安全上のご注意

- 1 プロジェクタ機器は熱を発生するものの近くでは使用しないでください。
- 2 プロジェクタはほこりの多い場所では使用しないでください。ほこりが原因でシステムが故障し、プロジェクタが自動的にシャットダウンすることがあります。
- 3 プロジェクタはよく換気された場所に設置してください。
- 4 プロジェクタの換気スロットと開口部をふさがないでください。
- 5 プロジェクタは 5°C ~ 35°C の周囲温度で操作します。

 注意：詳細については、プロジェクタに付属する安全情報を参照してください。

## プロジェクタの接続



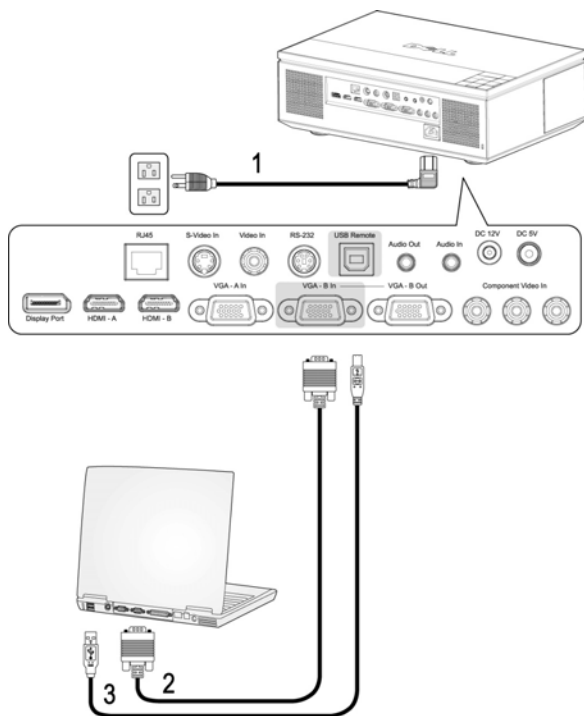
1	RJ45 ネットワークコネクタ
2	S ビデオ入力コネクタ
3	コンポジットビデオ入力コネクタ
4	RS232 コネクタ
5	USB リモートコネクタ
6	オーディオ出力コネクタ
7	オーディオ入力コネクタ
8	12 V DC リレー出力
9	5 V DC リレー出力
10	DisplayPort コネクタ
11	HDMI 入力コネクタ
12	VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ
13	VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ
14	VGA-B 出力 (モニターループスルー) コネクタ
15	コンポジットビデオ入力コネクタ
16	電源ケーブルコネクタ
17	セキュリティケーブルスロット

**!** 注意：このセクションで手続きをはじめるときに、「安全上のご注意」ページの 7 に従ってください。



# コンピュータの接続

## VGA ケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源ケーブル
2	VGA - VGA ケーブル
3	USB - USB ケーブル

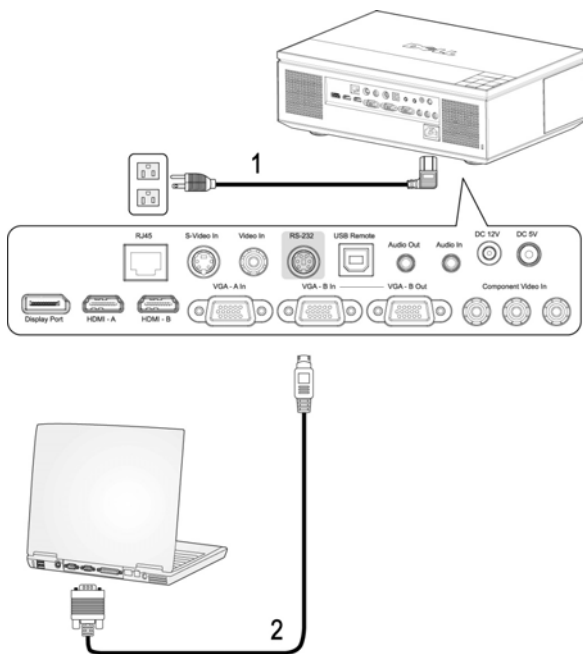


注意：USB ケーブルは付属していません。USB ケーブルは Dell Web サイトからご購入いただけます。



注意：リモコンで「次のページ」機能と「前のページ」機能を使用する場合は、USB ケーブルを接続する必要があります。

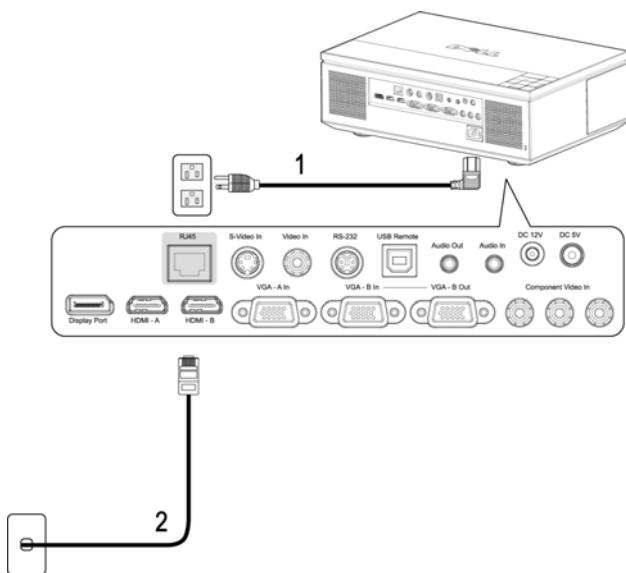
## RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続




1	電源ケーブル
2	RS232 ケーブル

**注意**：RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルと RS232 リモコンソフトウェアについては専門のインストール業者までお問い合わせください。

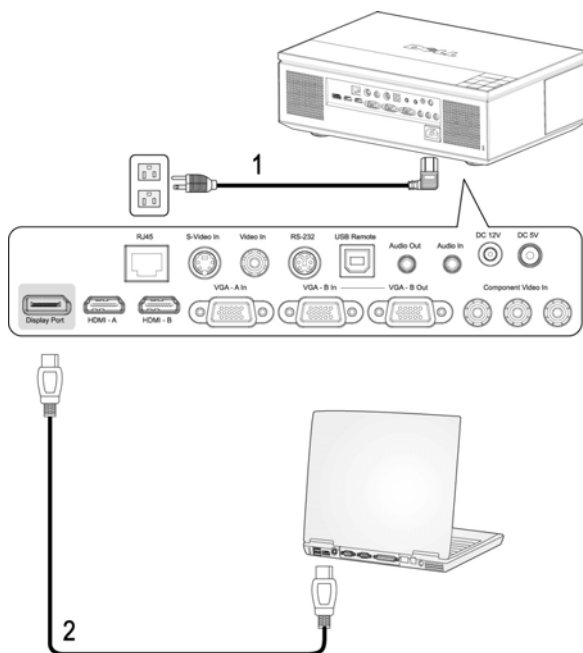
## イーサネットケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源ケーブル
2	イーサネット (RJ45) ケーブル

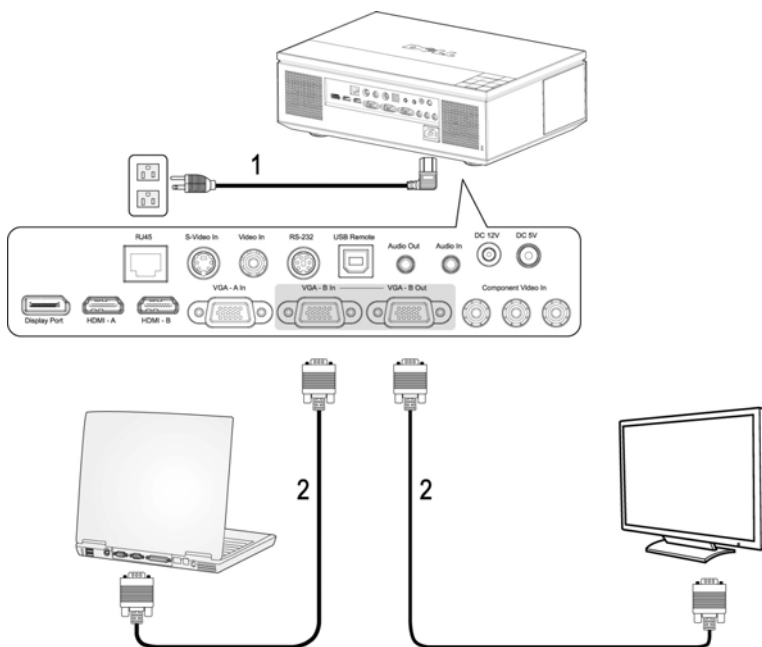
 注意：イーサネット (RJ45) ケーブルは付属していません。

## DisplayPort ケーブルを使ったコンピュータの接続



1	電源ケーブル
2	DisplayPort ケーブル

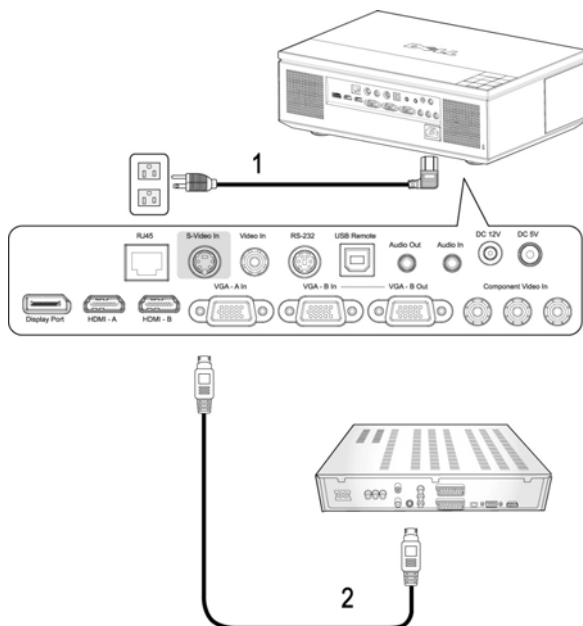
VGA ケーブルを使用してループする一接続をモニタしてください




1	電源ケーブル
2	VGA - VGA ケーブル

# DVD プレーヤーの接続

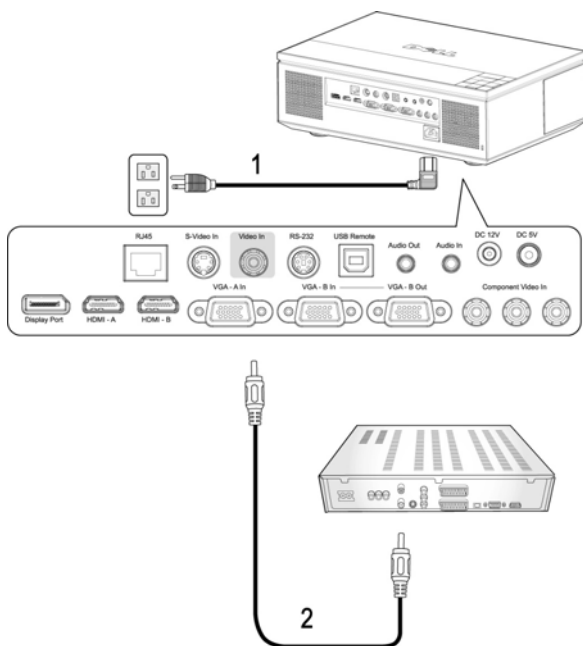
## S ビデオケーブルを使った DVD プレーヤーの接続




1	電源ケーブル
2	S ビデオケーブル

 注意：S ビデオケーブルは付属していません。Dell の Web サイトで S ビデオ延長（50ft/100ft）ケーブルをお買い求めいただけます。

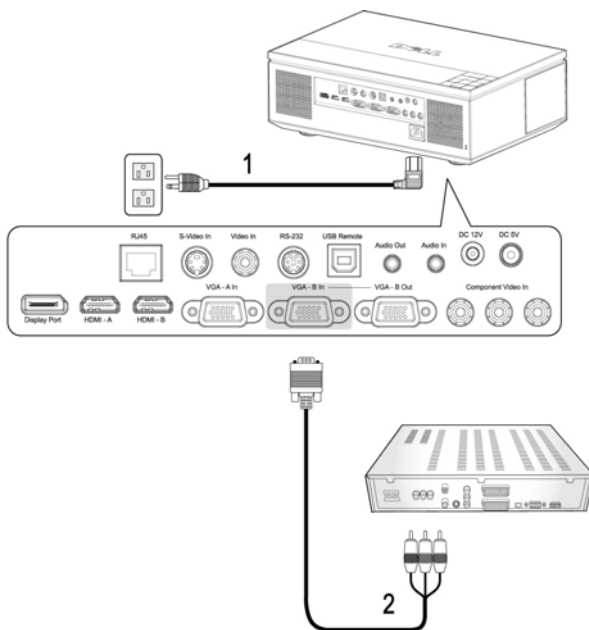
## コンポジットケーブルを使った DVD プレーヤーの接続




1	電源ケーブル
2	コンポジットビデオケーブル


 **注意**：コンポジットケーブルは付属していません。Dell の Web サイトでコンポジットビデオ延長（50ft/100ft）ケーブルをお買い求めいただけます。

## コンポーネント (VGA 対 YPbPr) ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続



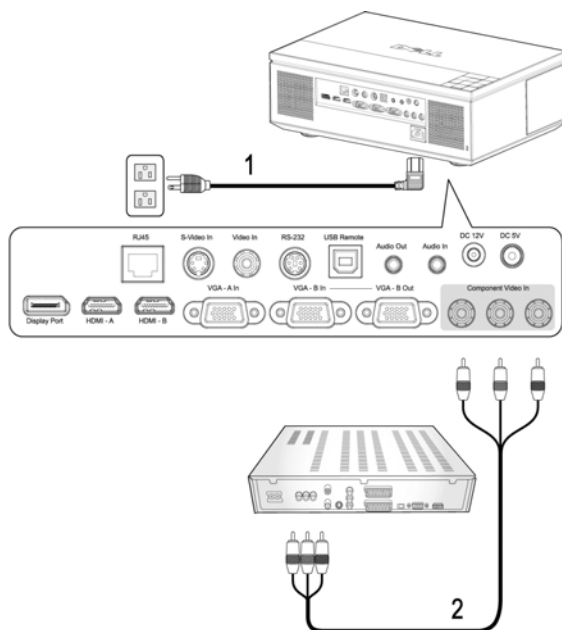
1	電源ケーブル
2	VGA - YPbPr ケーブル

 注意：VGA - YPbPr ケーブルは付属していません。Dell の Web サイトで VGA - YPbPr 延長（50ft/100ft）ケーブルをお買い求めいただけます。


 注意：コンポーネントケーブルは、VGA-A 入力または VGA-B 入力に接続できます。



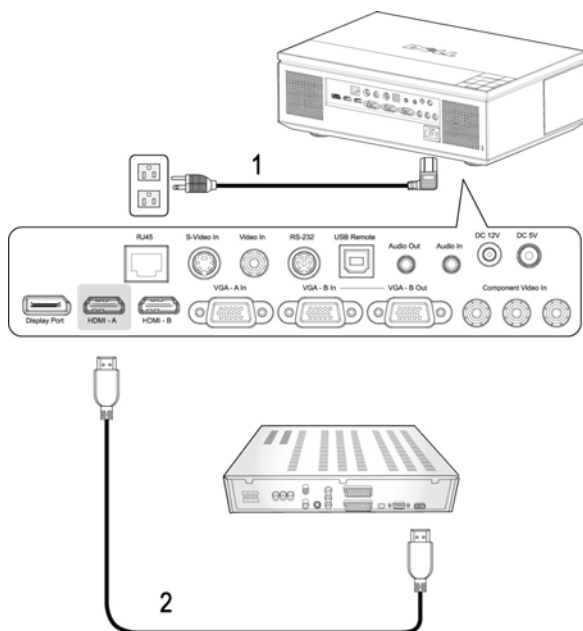
## コンポーネント (YPbPr - YPbPr) ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続




1	電源ケーブル
2	YPbPr 対 YPbPr ケーブル

 注意：YPbPr - YPbPr ケーブルは付属していません。

## HDMI ケーブルを使った DVD プレーヤーの接続

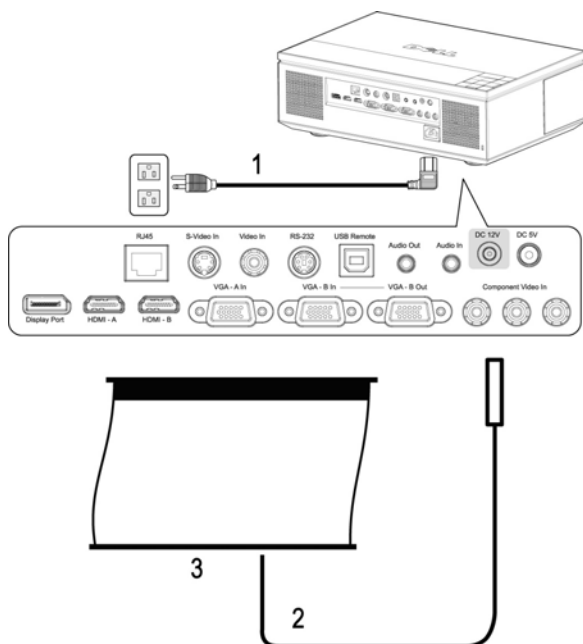


1	電源ケーブル
2	HDMI ケーブル

 **注意**：HDMI ケーブルは付属していません。

# プロフェッショナル向け取り付けオプション


## ドライビング自動スクリーンの取り付け



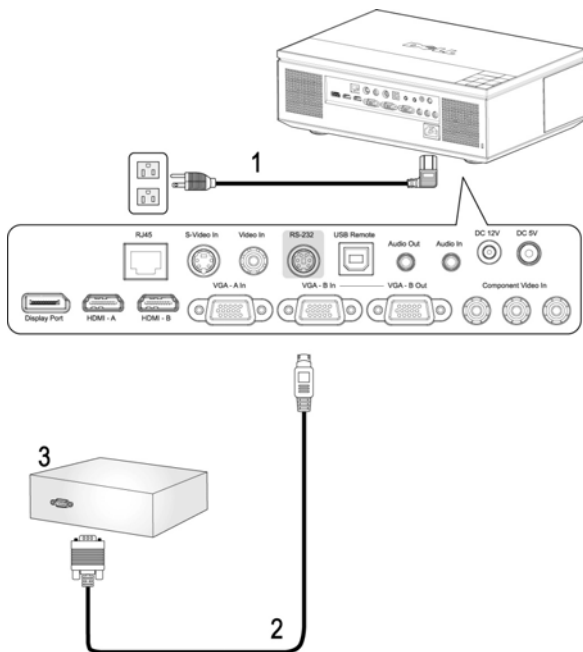
1	電源ケーブル
2	12V DC 電源ケーブル
3	自動スクリーン

**注意** : 12V DC 電源ケーブルは付属していません。


12V DC 電源ケーブルは、DC 12V ジャックに接続する必要があります。

**注意** : 1.7mm (ID) x 4.00mm (DD) x 9.5 mm (シャフト) の寸法の 12V DC プラグ  を使って、自動スクリーンをプロジェクタに接続します。

## 商用 RS232 コントロールボックスの接続




1	電源ケーブル
2	RS232 ケーブル
3	商用 RS232 コントロールボックス


 **注意**：RS232 ケーブルは付属していません。ケーブルと RS232 リモコンソフトウェアについては専門のインストール業者までお問い合わせください。

# プロジェクトタの使用法

## プロジェクトタの電源を入れる

 **注意：**プロジェクトタの電源を入れてから、ソースの電源を入れます。電源ボタンを押すまで、ボタンは青色で点滅します。


1 レンズキャップを外します。

 **注意：**レンズキャップを取り外し、プロジェクトタをオンにする必要があります。取り付けたままだと、レンズキャップ内部の金属プレートが熱くなり、やけどの原因となります。

2 電源ケーブルと適切な信号ケーブルを接続します。プロジェクトタの接続については、「プロジェクトタの接続」ページの 8 を参照してください。

3 電源ボタンを押します（電源ボタンの位置については、「コントロールパネルの使用法」ページの 25 を参照してください）。


4 ソース（コンピュータ、DVD プレーヤーなど）の電源を入れます。プロジェクトタが自動的にソースを検出します。

 **注意：**プロジェクトタに複数のソースが接続されている場合は、リモコンまたはコントロールパネルのソースボタンを押して、希望するソースを選択します。

5 電源が入ると Dell ロゴが 30 秒間表示されます。

「信号を検索中です…」というメッセージが画面に表示される場合は、適切なケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。


## プロジェクトタの電源を切る

 **通知：**プロジェクトタのケーブルを外す前に、次に説明する手順に従って正しくシャットダウンします。


1 電源ボタンを押します。

2 電源ボタンをもう一度押します。冷却ファンが 120 秒間作動します。

3 時間を掛けずにプロジェクトタの電源を切るには、プロジェクトタの冷却ファンが作動中に電源ボタンを押します。

 **注意：**プロジェクトタの電源をもう一度入れる場合は、内部温度が安定するまで 60 秒待ちます。

4 コンセントとプロジェクトタから電源ケーブルの接続を外します。


 **注意**：プロジェクタが作動中に電源ボタンを押すと、「電源ボタンを押してプロジェクタの電源をオフにします。」というメッセージが画面に表示されます。このメッセージを消すには、コントロールパネルのメニューボタンを押すか、または、メッセージを無視します。メッセージは10秒後に消えます。

## 投影画像の調整

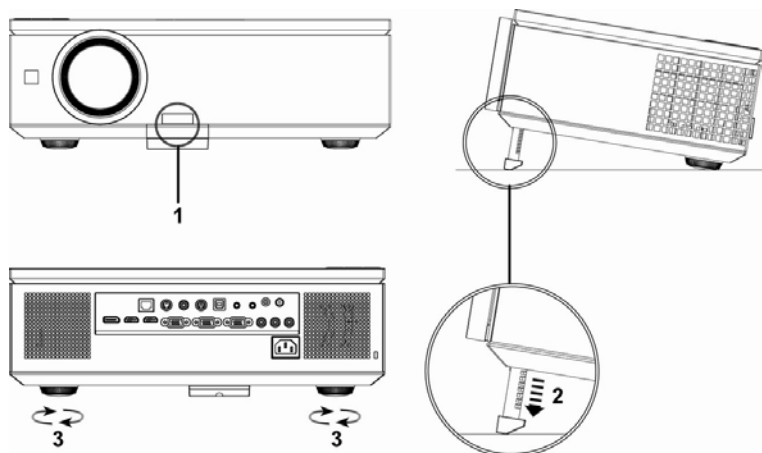
### プロジェクタの高さを上げる

- 1 エレベーターボタンを押します。
- 2 プロジェクタを任意の高さまで上げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。
- 3 傾斜調整ホイールを使ってディスプレイの角度を微調整します。

### プロジェクタの高さを下げる

 **注意**：エレベーターボタンを押しているとき、プロジェクターを適切に支え、手をエレベーターフットの近くに置かないでください。

- 1 エレベーターボタンを押します。
- 2 プロジェクタを下げ、ボタンを離してエレベーターフットを固定します。



1	エレベーターボタン
2	エレベーターフット
3	傾斜調整ホイール

## プロジェクタのズームとフォーカスの調整

1 プロジェクタのサイドドアを開けます。

**⚠ 注意:** プロジェクタを移動する場合には、サイドドアが閉じていてエレベーターフットが完全に引っ込んでいることを確認して、プロジェクタが破損しないようにします。

2 レンズのシフトロックを解除し、レンズシフトを調整します。

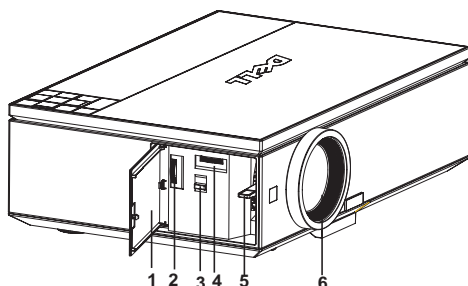
3 垂直/水平レンズシフトノブを回して、レンズをシフトします。

4 レンズシフトの調整後、レンズシフトロックをロックします。

5 ズームリング調整を引っ張り上げたり下げたりして、ズームインとズームアウトを行います。

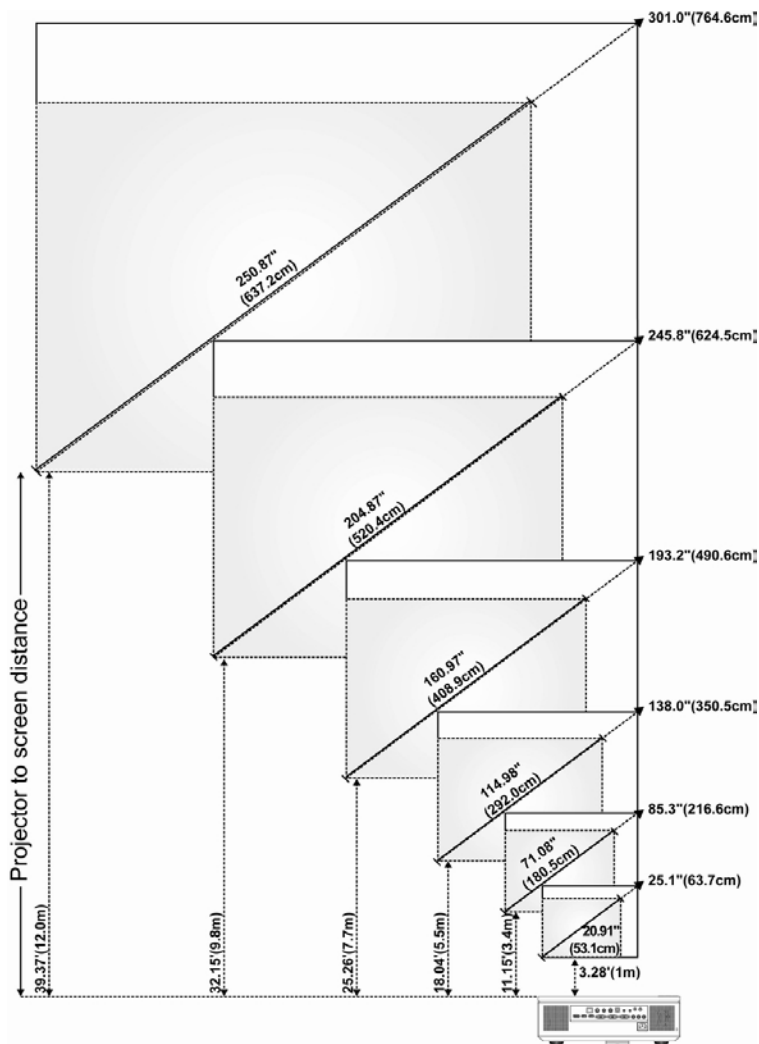
6 画像が鮮明になるまでフォーカスリング調整を回します。プロジェクタで焦点が合う距離は 99.97 cm ~ 1,200.00 cm (1.0m ~ 12.0m) です。

7 プロジェクタのサイドドアを閉じます。



1	サイドドア
2	垂直レンズシフトノブ
3	レンズシフトロック
4	水平レンズシフトノブ
5	ズームリング
6	フォーカスリング

# 投影画像サイズの調整

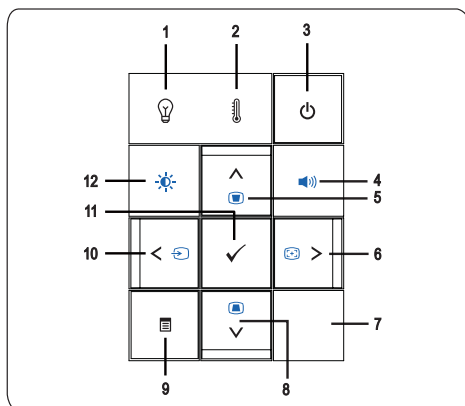




画面 (対角線)	最大	25.1" (63.7cm)	85.3" (216.6cm)	138.0" (350.5cm)	193.2" (490.6cm)	245.8" (624.5cm)	301.0" (764.6cm)
	最小	20.91" (53.1cm)	71.08" (180.5cm)	114.98" (292.0cm)	160.97" (408.9cm)	204.87" (520.4cm)	250.87" (637.2cm)
画面サイズ	最大 (幅 x 高さ)	21.3" X 13.3" (54.1cm X 33.7cm)	72.4" X 45.2" (183.8cm X 114.7cm)	117.0" X 73.1" (297.3cm X 185.6cm)	163.9" X 102.3" (416.2cm X 259.8cm)	208.6" X 130.2" (529.7cm X 330.7cm)	255.4" X 159.4" (648.6cm X 404.9cm)
	最小 (幅 x 高さ)	17.7" X 11.1" (45.0cm X 28.12cm)	60.3" X 37.7" (153.1cm X 95.7cm)	97.5" X 60.9" (247.7cm X 154.8cm)	136.5" X 85.3" (346.7cm X 216.7cm)	173.7" X 108.6" (441.3cm X 275.8cm)	212.7" X 133.0" (540.3cm X 337.7cm)
投影距離		3.28' (1.0m)	11.15' (3.4m)	18.04' (5.5m)	25.26' (7.7m)	32.15' (9.8m)	39.37' (12.0m)















\* この表はユーザーの参照用です。






## コントロールパネルの使用法



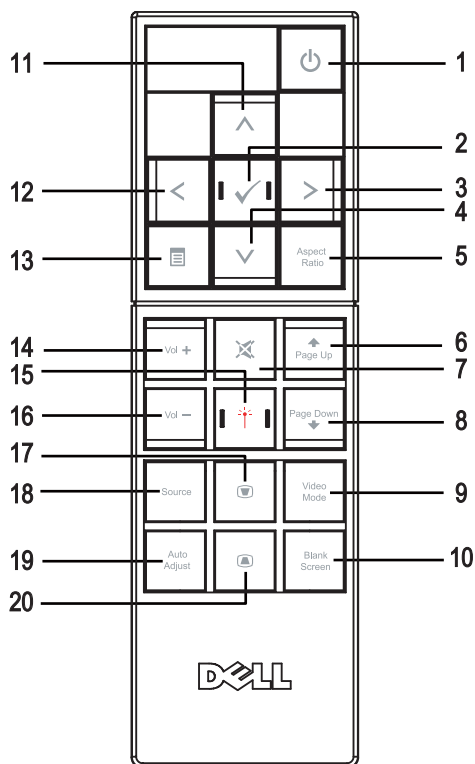
### 1 ランプ警告ライト












- ランプ警告ライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します ("ランプ" ページの 37 をご覧ください)。
- ランプ警告ライトがオレンジ色で点滅する場合は、システムエラーを意味します。プロジェクタは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください ("Dell™ へのお問い合わせ" ページの 57 をご覧ください)。




2 温度警告ライト 	<ul style="list-style-type: none"> <li>温度ライトがオレンジ色で点灯する場合は、プロジェクタ、ランプ、または、ランプドライバが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください ("Dell™ へのお問い合わせ" ページの 57 をご覧ください)。</li> <li>温度ライトがオレンジ色で点滅する場合は、プロジェクタのファンまたはカラーホイールが故障し、プロジェクタは自動的にシャットダウンすることを示します。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください ("Dell™ へのお問い合わせ" ページの 57 をご覧ください)。</li> </ul>
3 電源 	プロジェクタの電源を入れたり切ります。詳しくは、"プロジェクタの電源を入れる" ページの 21 および "プロジェクタの電源を切る" ページの 21 を参照してください。
4 音量コントロール 	スピーカーの音量を上げたり下げたりします。
5 アップ  / キーストーン調整 	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューからオプションを選択します。このボタンでプロジェクタの傾きによって起こる歪みを調整します。
6 右  自動調整 	OSD 設定を調整します。プロジェクタを入力ソースと同期化することもできます。オンスクリーンディスプレイ (OSD) が表示されている場合は、 <b>自動調整</b> は作動しません。
7 IR レシーバ	リモコンを IR レシーバに向けてボタンを押します。
8 ダウン  / キーストーン調整 	オンスクリーンディスプレイ (OSD) メニューからオプションを選択します。このボタンでプロジェクタの傾きによって起こる歪みを調整します。
9 メニュー 	OSD を有効にします。     とメニューボタンで OSD を操作します。

- 
- 10 左  / ソース  OSD 設定を調整します。プロジェクタに複数のソースが接続されている場合は、 ボタンを使用して、デジタル RGB、アナログ RGB、コンポジット、コンポーネント、S ビデオソースを切り替えます。
- 
- 11 入力  選択した OSD オプションを確認します。
- 
- 12 明るさとコントラストコントロール  明るさとコントラスト値を調整します。
- 

## リモコンの使用法









1	電源 	<p>プロジェクトの電源を入れたり切ります。詳しくは、"プロジェクトの電源を入れる"ページの 21 および"プロジェクトの電源を切る"ページの 21 を参照してください。</p> <p>プロジェクトがロックアップ状態になっているとき、10 秒間押し続けるとロックアップ状態を終了しスタンバイモードに戻ります。(例、ランプエラー、過熱など)</p>
2	入力 	このボタンを押して選択を確定します。
3	右 	このボタンを押して OSD 設定を調整します。
4	ダウン 	このボタンを押して OSD 項目を選択します。
5	縦横比	このボタンを押して、表示された画像の縦横比を変更します。
6	ページアップ 	このボタンを押して前のページへ移動します。
7	消音 	このボタンを押して、プロジェクトのスピーカーを消音にしたり消音を解除します。
8	ページダウン 	このボタンを押して次のページへ移動します。
9	ビデオモード	<p>Dell 7609WU プロジェクトには、データ (PC グラフィック) やビデオ (ムービー、ゲームなど) の表示に最適なプリセット設定があります。ビデオモードボタンを押して<b>プレゼンテーションモード</b>、<b>ブライต์モード</b>、<b>ムービーモード</b>、<b>sRGB</b>、<b>カスタムモード</b> (ユーザーのセットアップ、およびお好みの設定の保存用) を切り替えます。ビデオモードボタンを 1 回押すと、現在の表示モードが表示されます。もう一度ビデオモードボタンを押すと、プロジェクトの表示モードが切り替わります。</p>
10	ブランク画面	このボタンを押して、画像を表示したり非表示にします。
11	アップ 	このボタンを押して OSD 項目を選択します。
12	左 	このボタンを押して OSD 設定を調整します。
13	メニュー 	このボタンを押して OSD を有効にします。
14	音量アップ 	このボタンを押して音量を上げます。

15	レーザー	リモコンを画面に向け、レーザーボタンを押して続けてレーザーライトを有効にします。
16	音量ダウン 	このボタンを押して音量を下げます。
17	キーストン調整 	このボタンを押して、プロジェクタを傾けた場合の歪みを調整します。(±30度)
18	ソース	このボタンを押して、デジタルRGB、アナログRGB、コンボジット、Sビデオ、コンポジットソースを切り替えます。
19	自動調整	このボタンを押して、プロジェクタと入力ソースを同期化します。OSD（オンスクリーンディスプレイ）が表示されている場合は、自動調整は作動しません。
20	キーストン調整 	このボタンを押して、プロジェクタを傾けた場合の歪みを調整します。(±30度)

## オンスクリーンディスプレイの使用方法

プロジェクタには多言語のオンスクリーンディスプレイ（OSD）があり、入力ソースの有無に関わらず表示されます。

メインメニューのタブの間を移動するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの  ボタンまたは  ボタンを押します。サブメニューを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの **入力** ボタンを押します。

オプションを選択するには、プロジェクタのコントロールパネルまたはリモコンの  または  を押します。項目を選択すると、色が濃い青色になります。コントロールパネルまたはリモコンの  または  を使って設定を調整します。

メインメニューに戻るには、戻るタブに進み、コントロールパネルまたはリモコンの **入力** を押します。

OSDを終了するには、終了タブに進み、**入力** ボタンを押すか、または、コントロールパネルまたはリモコンの **メニュー** ボタンを押します。

## メインメニュー



### 入力選択

入力選択メニューを使ってプロジェクトの入力ソースを選択します。



**自動ソース オン** (デフォルトのオプション) を選択すると、使用可能な入力信号を自動検出します。プロジェクトの電源が入った状態でソースボタンを押すと、次の使用可能な入力信号を自動検出します。**オフ**を選択して、現在の入力信号をロックします。**自動ソースモードをオフ**に設定した状態でソースボタンを押すと、入力信号を手動で選択できます。

**VGA-A**—入力を押してVGA-A信号を検出します。

**VGA-B**—入力を押してVGA-B信号を検出します。

**Sビデオ**—入力を押してSビデオ信号を検出します。

**コンポジットビデオ**—入力を押してコンポジットビデオ信号を検出します。

**コンポーネント**—入力を押してコンポーネントビデオ信号を検出します。

**ディスプレイポート**—入力を押してDisplayPort信号を検出します。

**HDMI-A**—入力を押してHDMI-A信号を検出します。

**HDMI-B**—入力を押してHDMI-B信号を検出します。

### 自動調整

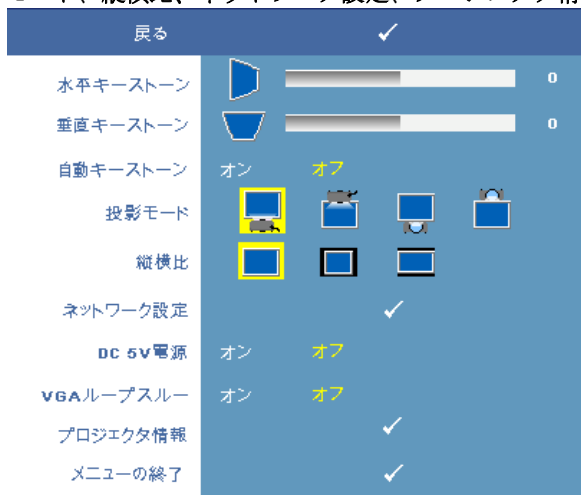


自動調整を使って、PCモードでプロジェクトの**周波数**と**トラッキング**を自動的に調整します。自動調整

中は、「**自動調整が進行中です...**」というメッセージが画面に表示されません。

## 設定

これには **水平キーストーン**、**垂直キーストーン**、**自動キーストーン**、**投影モード**、**縦横比**、**ネットワーク設定**、**プロジェクタ情報**が含まれています。







**水平キーストーン**—プロジェクタの位置を水平方向に移動したことによって起こるゆがみを調整します。




**垂直キーストーン**—プロジェクタを傾けた場合の画像の歪みを調整します。

**自動キーストーン**—オンを選択すると、プロジェクタを傾けたことに起因する垂直画像のゆがみを自動補正します。**オフ**を選択すると自動機能は無効になります。



**投影モード**—プロジェクタの取り付け方法によって投影モードを選択できます。













-  デスクトップ前面投影 — これは初期設定オプションです。
-  前面投影 — 天井取り付け — 天井取り付で投影する場合に、プロジェクタが画像を上下逆にします。
-  デスクトップ背面投影 — プロジェクタは画像を反転表示します。透過画面の裏面から投影することができます。
-  背面投影 - 天井取り付け — プロジェクタは画像を反転表示し、上下逆にします。天井取り付で透過画面の裏面から画像を投影できます。

**縦横比**—縦横比を設定します。

-  オリジナル — 入力ソースの縦横比を維持しながら、入力ソースを調整して画面に合わせます。
-  4:3 — 入力ソースを調整して画面に合わせ、4:3 画像を投影します。
-  ワイド — 入力ソースを調整して画面の幅に合わせ、ワイドスクリーン画像を投影します。

**ネットワーク設定** — ネットワーク設定を管理します。**入力**を押してネットワーク設定メニューを開きます。

戻る	✓
DHCP	オン <b>オフ</b>
IPアドレス	192.168.4.137
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.4.137
DNS	192.168.1.4
変更を適用	✓
ネットワークをリセット	✓
ネットワーク	 オン  オフ
メニューの終了	✓

- DHCP — **オン**を選択して DHCP サーバーからプロジェクトに IP アドレスを自動的に割り当てます。**オフ**を選択して IP アドレスを手動で割り当てます。
- IP アドレス — **入力**を押して IP アドレスを設定します。 または  を押して番号の位置を選択し、 または  を押して番号を変更します。
- サブネットマスク — **入力**を押してサブネットマスクの番号を設定します。 または  を押して番号の位置を選択し、 または  を押して番号を変更します。
- ゲートウェイ — **入力**を押してプロジェクトに接続されたネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。 または  を押して番号の位置を選択し、 または  を押して番号を変更します。
- DNS — プロジェクトに接続されたネットワークの DNS サーバーの IP アドレスを入力します。12 桁の英数字を使用できます。
- 変更を適用 — **入力**を押して設定を確認します。
- ネットワークをリセット — **入力**を押してデフォルト設定にリセットします。



- ネットワーク — オンを選択すると有効になり、オフを選択するとネットワーク接続が無効になります。

**DC 5V 電源** — このオプションを選択すると、DC 5V 電源の オンまたはオフが切り替わります。

**VGA ループスルー** — このオプションを選択すると VGA ループのオンまたはオフが切り替わります。

**プロジェクト情報** — プロジェクタのモデル名、現在の入力ソース、プロジェクトのシリーズ番号 (PPID#) を表示します。

## ピクチャ (PC モード)

ピクチャメニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります。



**明るさ** — ◀ または ▶ を使って画像の明るさを調整します。

**コントラスト** — ◀ または ▶ を使ってディスプレイのコントラストを調整します。

**色温度** — 色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。

**色調整** — 赤、緑、青の色を手動で調整します。

**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが有効になります。値はカスタムモードで保存されます。

## ピクチャ（ビデオモード）

ピクチャメニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ピクチャメニューには次のオプションがあります。



**明るさ**—またはを使って画像の明るさを調整します。

**コントラスト**—またはを使ってディスプレイのコントラストを調整します。

**色温度**—色温度を調整します。画面は、色温度が高いと寒色になり、色温度が低いと暖色になります。

**色調整**—赤、緑、青の色を手動で調整します。**色調整**メニューで値を調整すると、カスタムモードが有効になります。値はカスタムモードで保存されません。

**彩度**—ビデオソースを白黒から彩度のあるフルカラーに調整します。を押して画像の色の量を減らし、を押して色の量を増やします（Sビデオやコンポジットビデオ信号用にはのみ選択可能）。

**鮮明度**—画像の鮮明度を調整します。を押して鮮明度を下げ、を押して鮮明度を上げます。

**色合い**—を押して画像の緑色の量を増やし、を押して赤の量を増やします（Sビデオやコンポジットビデオ信号用にはのみ選択可能）。

## 表示 (PC モード)



表示メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ディスプレイメニューには次のオプションがあります。



**ビデオモード**—プロジェクタのディスプレイモードを最適化します。

**プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB** (より精密な色を提供します)、**カスタム** (お好みの設定を設定します)。**白の強度**または**ガンマ補正**の設定を調整すると、プロジェクタは自動的に**カスタム**に切り替わります。



**信号の種類**—RGB、YCbCr、YPbPrの信号の種類から手動で選択できます。

**ズーム**—を押して投影画面の画像をデジタルに最大8倍まで拡大し、を押してズームした画像を縮小します (単一ディスプレイ用)。

**ズームナビゲーション**—   を押して投影画面をナビゲートします。

**白の強度**—0に設定して色の再現性を最大化し、10に設定して明るさを最大化します。

**ガンマ補正**—4つの既定値 (1、2、3、4) を調整して、ディスプレイのカラーパフォーマンスを変更します。

**水平位置**—を押して画像を左へ移動し、を押して画像を右へ移動します。

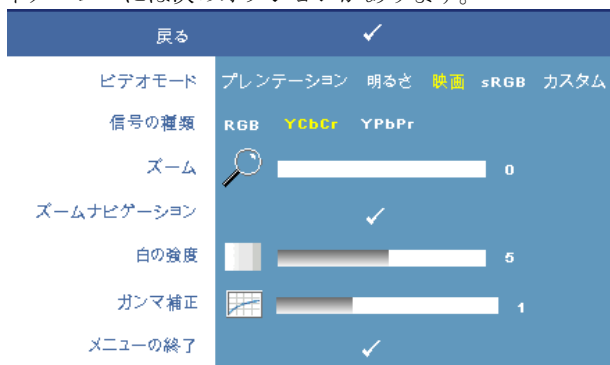
**垂直位置**—を押して画像を下へ移動し、を押して画像を上へ移動します。

**周波数**—ディスプレイのデータクロック周波数を変更し、コンピュータのグラフィックスカードの周波数と合わせます。縦線がちらつく場合は、**周波数コントロール**を使って縦線を最小限に抑えます。これは粗調整です。

**トラッキング**—ディスプレイ信号の位相をグラフィックカードと同期化します。画像が不安定だったり、ちらつく場合は、**トラッキング**を使って修正します。これは微調整です。

## 表示（ビデオモード）

表示メニューを使って、プロジェクタの表示設定を調整します。ディスプレイメニューには次のオプションがあります。



**ビデオモード**—プロジェクタのディスプレイモードを最適化します。

**プレゼンテーション**、**明るさ**、**映画**、**sRGB**（より精密な色を提供します）、**カスタム**（お好みの設定を設定します）。**白の強度**または**ガンマ補正**の設定を調整すると、プロジェクタは自動的に**カスタム**に切り替わります。

**信号の種類**—RGB、YCbCr、YPbPrの信号の種類を手動で選択します。

**ズーム**—を押して投影画面の画像をデジタルに最大8倍まで拡大し、を押してズームした画像を縮小します（単一ディスプレイ用）。

**ズームナビゲーション**—   を押して投影画面をナビゲートします。



**白の強度**—0に設定して色の再現性を最大化し、10に設定して明るさを最大化します。

**ガンマ補正**—4つの既定値（1、2、3、4）を調整して、ディスプレイのカラーパフォーマンスを変更します。

## PIP 設定



**注意：** 前景および背景のディスプレイをスワップしているとき、前景ディスプレイの最小画面サイズはPIPのさまざまな信号ソースの組合せによって異なります。

**PIP/PBP イメージ**—ピクチャインピクチャ (PIP) ディスプレイを有効にするには  **オン** を選択し、ピクチャバイピクチャ (PBP) ディスプレイを有効にするには  **オン** を選択します。**オフ** を選択すると機能は無効になります。

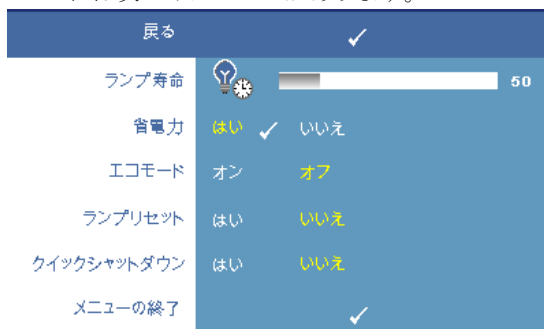
**PIP/PBP ソース**—使用可能な PIP/PBP ソースは、現在の 1 次入力ソースにもよりますが、OSD 選択で使用できます。これらのソースの可能な組合せを表示するには、ページ 55 を参照してください。

**PIP サイズ**—PIP ディスプレイの画像サイズを調整します。

**PIP 位置**—PIP 位置をディスプレイの 4 つの異なる隅に変更します。

## ランプ

ランプメニューを使って、プロジェクトの表示設定を調整します。ランプメニューには次のオプションがあります。



**ランプ寿命**—最後にランプタイマーをリセットしてからの経過時間を表示

します。

**省電力**—はいを選択して省電力遅延時間を設定します。遅延時間は、入力信号がない状態でプロジェクタが待機する時間です。初期設定では、遅延時間は120分に設定されています。遅延時間は、5分、15分、30分、45分、60分、120分に設定できます。

遅延時間内に入力信号が検出されない場合は、プロジェクタはランプをオフにして、省電力モードになります。プロジェクタが省電力モードに入っているときに入力信号が検出されると、プロジェクタは自動的にオンになります。2時間以内に入力信号が検出されない場合は、プロジェクタは省電力モードから電源オフモードに切り替わります。プロジェクタの電源を入れるには電源ボタンを押します。

**エコモード**—オンを選択すると、ランプは低電力レベル（264 W）で動作します。ランプの寿命が延び、操作が静かになり、また、画面上のルミナス出力が弱くなります。**オフ**を選択すると通常の電力レベル（300 W）で動作します。

**ランプリセット**—新しいランプを取り付けた後で、はいを選択してランプタイマーをリセットします。

**クイックシャットダウン**—はいを選択し、電源ボタンを一回押してプロジェクタの電源を切ります。この機能で、ファンの速度を上げてプロジェクタの電源を素早く切ります。









**注意**：クイック電源オフの際には、幾分大きいノイズがあります。

## 言語




言語メニューで OSD 用の言語を選択します。

戻る	✓
言語	English
	Deutsch
	Français
	Italiano
	Español
	Polski
	Svenska
	Nederlands
	Português Ibérico
	日本語
	繁體中文
	简体中文
	한국어
	русский
	عربي
メニューの終了	✓

## その他

戻る	✓
オーディオ設定	✓
クローズドキャプション	オン ✓ オフ
カスタマイズ画面	✓
メニューロック	オン オフ
メニュータイムアウト	   30
メニュー位置	 
メニューの透明度	  8
パスワード	有効 オフ
パスワードの変更	✓
テストパターン	オン オフ
出荷時にリセット	オン オフ
メニューの終了	✓


**オーディオ設定** — 入力を押してオーディオ設定メニューを開きます。

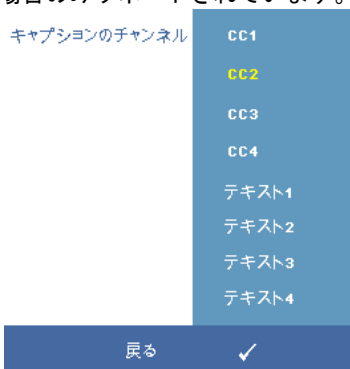
戻る	✓
オーディオソース	HDMI <b>オーディオ</b> ディスプレイポート
ボリューム	  50
消音	 
バランス	  50
低音	  50
高音	  50
メニューの終了	✓



- オーディオソース — HDMI、オーディオ (オーディオ入力)、または DisplayPort をオーディオソースとして選択して使用します。
- ボリューム — ◀ を押してボリュームを下げ、▶ を押してボリュームを上げます。
- 消音 — サウンドを消音にします。
- バランス — ◀ または ▶ を使って左右のスピーカーのバランスを調整します。
- 低音 — ◀ または ▶ を使って低音のトーンを調整します。
- 高音 — ◀ または ▶ を使って高音のトーンを調整します。


**クローズドキャプション**—オンを選択すると、クローズドキャプションのコンテンツが聴覚障害者に見えるようになります。オフを選択するとクローズドキャプションは無効になります。CC1 ~ CC4 およびテキスト1 ~ テキスト4 の範囲で適切なキャプションのチャンネルを選択してください。

 **注意：**クローズドキャプションは、S ビデオおよびコンポジットビデオの入力信号の場合のみサポートされています。



**カスタム画面**—入力を押して**カスタム画面**メニューをポップアップ表示します。ソースを入力し、**入力**を押して**はい**を選択します。プロジェクタが画面の画像を**マイカスタマイズロゴ**としてキャプチャします。この画面を Dell ロゴのある元の画面とすべて置き換えます。ポップアップ画面で **Dell ロゴ** を選択して、初期設定画面に戻すことができます。

**メニューロック**—オンを選択するとメニューロックが有効になり、OSD メニューが非表示になります。オフを選択するとメニューロックが無効になり、OSD メニューが表示されます。

 **注意：**メニューロックが無効で OSD が非表示になる場合は、プロジェクタのコントロールパネルやリモコンにある**メニューボタン**を 15 秒間押し、次に機能を無効にします。

**メニュータイムアウト**—OSD タイムアウトの遅延時間を調整します。初期

設定では、30 秒操作しないと OSD は非表示になります。

**メニュー位置**—OSD メニューの画面上の位置を選択します。

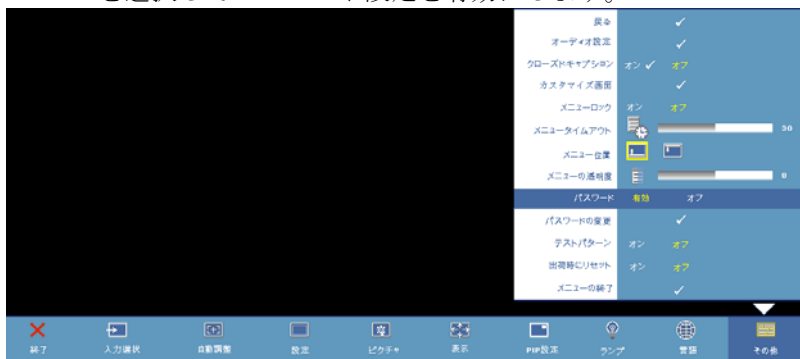
**メニューの透明度**—OSD 背景の透明度レベルを変更します。

**パスワード—パスワード保護**が有効になっていると、プロジェクトの電源を初めてオンにするとき、パスワードの入力を求めるパスワード保護画面が表示されます。初期設定ではこの機能は無効です。パスワードメニューを使ってこの機能を有効にできます。このパスワードセキュリティ機能は次にプロジェクトをオンにするときに有効になり、プロジェクトのパスワードの入力を求められます。

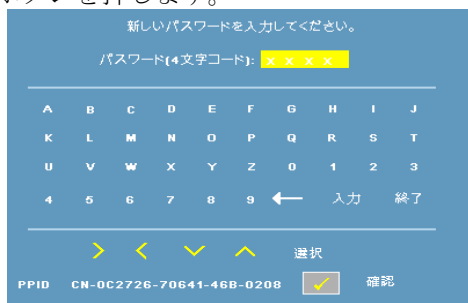
次のステップを使って、パスワード保護機能を有効にしパスワードを設定することができます。最後のステップ (ステップ3) では、パスワードを無効にする方法を説明しています。


## 1 初回パスワード入力の要請

- a その他メニューに進み、入力押し、次にパスワード有効を選択してパスワード設定を有効にします。



- b パスワード機能を有効にするが文字画面にポップアップ表示されます。4桁の文字コード (英数字) を画面に入力し、入力ボタンを押します。



- c 確認のため、パスワードをもう一度入力します。
  - d パスワードが認証されると、プロジェクタの機能とユーティリティにアクセスできます。
- 2 間違ったパスワードを入力しても、さらに2回パスワードを入力することができます。3回無効なパスワードを入力すると、プロジェクタは自動的にオフになります。
-  **注意：パスワードを忘れた場合は、Dell™ ("Dell™ へのお問い合わせ" ページの 57 を参照) または正規サービス技術者までご連絡ください。**
- 3 パスワード機能をキャンセルする場合は、オフを選択し、パスワードを入力して機能を無効にします。

パスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード): x x x x

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

> < ✓ ^ 選択

PPID CN-0C2726-70641-46B-0208  確認

**パスワードの変更** 元のパスワードを入力し、次に新規パスワードを入力します。新規パスワードをもう一度入力して確認します。

元のパスワードを入力してください。

パスワード(4文字コード): x x x x

A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T
U	V	W	X	Y	Z	0	1	2	3
4	5	6	7	8	9	←	入力	終了	

> < ✓ ^ 選択

PPID CN-0C2726-70641-46B-0208  確認



**テストパターン** オンを選択して、フォーカスと解像度を自己テストする内蔵テストパターンを有効にします。**オフ**を選択すると機能は無効になります。

**出荷時にリセット** オンを選択して、プロジェクタを工場出荷時の初期設定にリセットします。コンピュータソースやビデオソース設定もリセットされます。





# プロジェクタのトラブルシューティング

プロジェクタに問題が生じた場合は、次のトラブルシューティングを参照してください。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。"Dell™ へのお問い合わせ" ページの 57 を参照してください。

---

問題	解決方法
画面に画像が表示されません。	<ul style="list-style-type: none"><li>• レンズキャップを外して、プロジェクタの電源が入っていることを確認します。</li><li>• 外部グラフィックスポートが有効になっていることを確認します。Dell™ ノートパソコンをご使用の場合は   (Fn+F8) を押します。その他のコンピュータについては、それぞれの取扱説明書をお読みください。</li><li>• すべてのケーブルがしっかりと接続されていることを確認します。"プロジェクタの接続" ページの 8 を参照してください。</li><li>• コネクタのピンが曲がったり、折れたりしていないことを確認します。</li><li>• ランプがしっかりと取り付けられているかどうか確認してください ("ランプの交換" ページの 49 をご覧ください)。</li><li>• その他メニューのテストパターンを使います。テストパターンの色が正しいことを確認します。</li></ul>

---

問題 (続く)	解決方法 (続く)
<p>画像が一部しか表示されない、スクロールする、または、正しく表示されない。</p>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 リモコンまたはコントロールパネルの<b>自動調整</b>ボタンを押します。</li> <li>2 Dell™ ノートパソコンをお使いの場合は、コンピュータの解像度を WXGA (1280 x 800) または XGA (1024 x 768) に設定します。 <ol style="list-style-type: none"> <li>a Windows デスクトップの使っていない部分を右クリックし、<b>プロパティ</b>をクリックして、次に、<b>設定</b>タブを選択します。</li> <li>b 外部モニタポートの設定が 1280 x 800 または 1024 x 768 ピクセルになっていることを確認します。</li> <li>c   (Fn+F8) を押します。</li> </ol> </li> </ol>
	<p>解像度を変更できない場合や、モニターがフリーズする場合は、すべての装置とプロジェクトを再起動します。</p>
	<p>Dell™ ノートパソコンをご使用でない場合は、取扱説明書をお読みください。</p>
	<p>問題がそれでも解決しない場合、コンピュータのグラフィックスカードドライバ (ビデオドライバ) を最新バージョンにアップグレードし、プロジェクトでもう一度テストしてください。</p>
<p>画面にプレゼンテーションが表示されない。</p>	<p>Dell™ ノートパソコンをご使用の場合は   (Fn+F8) を押します。</p>
<p>画像が不安定、または、ちらつく。</p>	<p>OSD <b>表示</b> サブメニューでトラッキングを調整します (PC モードのみ)。</p>
<p>画像に縦線が入る。</p>	<p>OSD <b>表示</b> サブメニューで周波数を調整します (PC モードのみ)。</p>
<p>画像の色が正しくない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスプレイがグラフィックスカードから間違った信号出力を受信する場合は、OSD <b>表示</b> タブで信号の種類を <b>RGB</b> に設定してください。</li> <li>• <b>その他</b> メニューの<b>テストパターン</b>を使います。テストパターンの色が正しいことを確認します。</li> </ul>

問題 (続く)	解決方法 (続く)
画像の焦点が合わない。	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 プロジェクタレンズのフォーカシングを調整します。</li> <li>2 投影画面がプロジェクタから許容距離内にあることを確認します (99.97 cm [1 m] ~ 1,200.00 cm [12 m])。</li> </ol>
16:9 DVD を表示すると画像が伸びる。	<p>プロジェクタは自動的に入力信号形式を検出します。投影画像の縦横比を入力信号形式に従って元の初期設定で維持します。</p> <p>画像がそれでも伸びる場合、OSD の <b>設定</b> メニューで縦横比を調整してください。</p>
画像が反転する。	OSD で <b>設定</b> を選択し、投影モードを調整します。
ランプが切れた、または、音がする。	ランプの寿命がなくなると、切れたり音がすることがあります。この場合は、プロジェクタの電源は入りません。ランプを交換するには、"ランプの交換" ページの 49 を参照してください。
ランプライトがオレンジ色で点灯	ランプライトがオレンジ色で点灯する場合は、ランプを交換します。
ランプライトがオレンジ色で点滅	<p>ランプライトと電源ライトがオレンジ色で点滅する場合は、ランプドライバが故障し、プロジェクタは自動的にシャットダウンすることを意味します。</p> <p>ランプライトがオレンジ色で点滅し、電源ライトが青色で点灯する場合は、カラーホイールが故障し、プロジェクタは自動的にシャットダウンすることを意味します。</p> <p>3 分間待ってから電源ケーブルの接続を外し、ディスプレイをもう一度オンにします。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。("Dell™ へのお問い合わせ" ページの 57 を参照してください)</p>
温度ライトがオレンジ色で点灯	<p>プロジェクタが過熱しています。ディスプレイは自動的にシャットダウンします。プロジェクタが冷却してからディスプレイの電源をもう一度入れます。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。("Dell™ へのお問い合わせ" ページの 57 を参照してください)</p>

問題 (続く)	解決方法 (続く)
<b>温度</b> ライトがオレンジ色で点滅	プロジェクタのファンが故障し、プロジェクタは自動的にシャットダウンします。問題が解消しない場合は Dell™ までお問い合わせください。("Dell™ へのお問い合わせ" ページの 57 を参照してください)
OSD が画面に表示されません。	リモコンにあるメニューボタンを 15 秒間押し続けて OSD のロックを解除します。 <b>メニューロック</b> "メニューロック" ページの 41 を確認します。
リモコンがスムーズに動作しない、または、限られた範囲でしか動作しない。	電池の残量が少なくなっています。リモコンからのレーザービームが弱過ぎないか点検します。レーザービームが弱い場合は、新しい単 4 電池 2 本と交換します。



## ランプの交換

プロジェクタランプの寿命が短くなり、交換が必要になると、次のメッセージが画面に表示されます：

ランプは全出力操作で耐用年数の終わりに達しています。交換をお勧めします。[www.dell.com/lamps](http://www.dell.com/lamps) にアクセスしてください。

**⚠ 注意：**この章で説明する交換処理の前に、ページ 7にある「安全上のご注意」をお読みください。

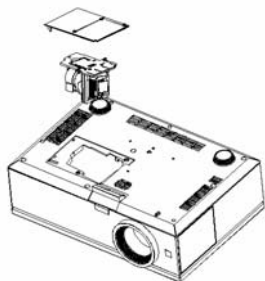
ランプを交換する：

1 プロジェクタの電源を切り、電源ケーブルの接続を外します。

**⚠ 注意：**ランプは使用中は大変熱くなります。ランプを交換する前に、少なくとも 30 分間プロジェクタを冷却します。

2 プロジェクタを少なくとも 30 分間そのままにして冷却します。

3 ランプカバーを固定している 2 本のネジを緩めてカバーを取り外します。



**⚠ 注意：**プロジェクタのランプやランプのガラスには絶対に触れないでください。プロジェクタのランプはきわめてもろく、触れると粉々に割れる可能性があります。

**⚠ 注意：**ランプが壊れた場合は、破片をすべてプロジェクタから取り除き、州や地域、国の法律に従って廃棄またはリサイクルしてください。詳しくは [www.dell.com/hg](http://www.dell.com/hg) をご覧ください。

4 ランプを固定している 2 本のネジを緩めます。

5 金属製のハンドルを持ってランプを取り出します。

6 新しいランプと交換します。


7 ランプを固定する 2 本のネジを締めます。

8 ランプカバーを元に戻して 2 本のネジを締めます。

9 OSD ランプタブにあるランプリセットで「はい」を選択して、ランプ使用時間をリセットします。("ランプ" ページの 37 を参照してください)。



注意：ランプの廃棄（米国のみ）

 当製品内部のランプには水銀が含まれています。お住まいの地域、州および国の規定に従って廃棄してください。詳しくは、**WWW.DELL.COM/HG**、または、《米》エレクトロニクス産業協議会のウェブサイト **WWW.EIAE.ORG** をご覧ください。ランプ別の廃棄方法については **WWW.LAMPRECYCLE.ORG** をご覧ください。

# 仕様

ライトバルブ	0.96" WUXGA DMD タイプ A、 DarkChip™3
明るさ	3850 ANSI ルーメン (最大)
コントラスト比	2700:1 標準 (フルオン/フルオフ)
均質性	85% 標準 (日本規格 - JBMA (日本事務機械工業会))
画素数	1920x 1200 (WUXGA)
表示可能な色	最大 1.07B 色 (ディザリング付き)
カラーホイール速度	2X
投影レンズ	F ストップ : F/2.6~2.9 焦点距離、39.12~46.94 mm 1.2 倍マニュアルズームレンズ
投影画面サイズ	20.9-301.0 インチ (対角線)
投影距離	3.28~39.37 ft (1 m~12 m)
ビデオ互換性	コンポジットビデオ、S ビデオ、 NTSC (J/M/ 4.43MHz)、PAL (B/D/G/H/I/M/N/Nc/60)、SECAM (B/D/G/H/K1/L)、HDMI、コンポー ネントビデオ (1080i/p, 720p, 576i/p, 480i/p) 対応  コンポジットビデオ、コンポーネン トビデオ (VGA および YPbPr RCA 経由)、S ビデオ、HDMI 対応
電力供給	ユニバーサル AC90-264 50/60 Hz、 PFC 入力付き
消費電力	フルモードで 454 W、エコモードで 405 W
オーディオ	スピーカー x 2、5 W RMS


ノイズレベル	35 dB(A) フルオンモード、32 dB(A) エコモード
質量	6.08 kg
寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)	外形 17.0 x 11.42 x 5.31 ± 0.04 インチ (432 x 290 x 135 ± 1 mm)
環境条件	動作温度: 5°C - 35°C 湿度: 80% 最大 保管温度: 0°C ~ 60°C (32°F ~ 140°F) 湿度: 90% 最大
規格	FCC、CE、UL、cUL、Nemko-GS、ICES-003、GOST、NOM、SABS、SASO
I/O コネクタ	電源: AC 電源入力ソケット コンピュータ入力: アナログ / コンポーネント、HD テレビ入力信号用 D サブ x 2 コンピュータ出力: 15 ピン D サブ x 1 ビデオ入力: コンポジットビデオ RCA x1、S ビデオ x1、コンポーネントビデオ RCA x1 セット オーディオ入力: フォンジャック x 1 (直径 3.5 mm) オーディオ出力: フォンジャック x 1 (直径 3.5 mm) USB ポート: リモートサポート用 USB スレーブ x 1 PC からのワイヤードリモコン用ミニ DIN RS232 x 1 HDMI 入力: HDMI 信号用 HDMI コネクタ x2 (HDMI 準拠) DisplayPort 信号用 DisplayPort コネクタ x1 ネットワーク用 RJ45 コネクタ x1

自動投影スクリーンコントロール用  
DC ジャック 12 V@200mA 出力、リ  
レーコントロール

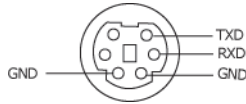
外部デバイスに電力を供給するため  
の DC ジャック 5 V@2.5A 出力

ランプ

264~300 ワットのユーザーが交換可  
能なランプ、最大 2000 時間のラン  
プ寿命 (エコモードでは、最大 2500  
時間)

 **注意：** プロジェクターランプの実際の動作寿命は操作条件と使用パターンにより異なります。埃っぽい環境、高温下および突然の電源遮断を含むストレスの多い条件でプロジェクターを使用すると、ランプの動作寿命が短くなったり、ランプが故障する原因となります。Dell のプロジェクターに対して指定されたランプ寿命は、ストレスのない操作条件下で、50% 以上のサンプリング集団に対して、ランプの定格された明るさレベルが約 50% 低減した場合の標準時間を参照しています。これは、ランプが光熱出力を停止する時間の単位ではありません。

## RS232 ピン割り当て



## RS232 プロトコル

- 通信設定

接続設定	値
ボーレート:	19200
データビット:	8
パリティ	なし
ストップビット	1

- コマンドタイプ

OSD メニューをポップアップ表示して設定を調整します。

- 制御コマンド構文 (PC からプロジェクタへ)

[H][AC][SoP][CRC][ID][SoM][COMMAND]

- 例: 電源オンコマンド (ローバイトを最初に送信)

--> 0xBE, 0xEF, 0x10, 0x05, 0x00, 0xC6, 0xFF, 0x11, 0x11, 0x01, 0x00, 0x01

- 制御コマンドのリスト

最新の RS232 コードについては、次の Dell Support サイトをごらんください:  
[support.dell.com](http://support.dell.com)。

## PIP コンビネーションソース

	VGA-A	VGA-B	コンポーネ ント	HDMI-A	HDMI-B	DisplayPort	S ビデオ/ コンボ ジット
VGA-A	[いいえ]	[いいえ]	[はい]	[はい]	[はい]	[はい]	[はい]
VGA-B	[いいえ]	[いいえ]	[はい]	[はい]	[はい]	[はい]	[はい]
コンポーネ ント	[はい]	[はい]	[いいえ]	[はい]	[はい]	[はい]	[はい]
HDMI-A	[はい]	[はい]	[はい]	[いいえ]	[いいえ]	[いいえ]	[はい]
HDMI-B	[はい]	[はい]	[はい]	[いいえ]	[いいえ]	[いいえ]	[はい]
DisplayPort	[はい]	[はい]	[はい]	[いいえ]	[いいえ]	[いいえ]	[はい]
S ビデオ/ コンボジ ット	[はい]	[はい]	[はい]	[はい]	[はい]	[はい]	[いいえ]


## 互換モード (アナログ/デジタル)

解像度	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (KHz)
640X480	60	31.5
640X480	75	37.5
640X480	85	43.3
720X400	70.1	31.5
720X400	85	38
800X600	60.3	37.9
800X600	75	46.9
800X600	85.1	53.7
848X480	60	31
1024X768	60	48.4
1024X768	75	60
1024X768	85	68.7
1280X720	60	44.8
1280X768	60	47.8
1280X800	60	49.7
1280X1024	60	64
1280X1024	75	80
1280X1024	85	91.1
1360X768	60	47.7
1400X1050	60	65.3
1440X900	60	56
1600X1200	60	75
1680X1050	60	65.3
1920X1200-R	60	74



# Dell™ へのお問い合わせ

米国内のお客様は 800-WWW-DELL (800-999-3355) までご連絡ください。

 **注意：**インターネット接続がない場合は、発注書、梱包明細書、請求書、またはデル製品カタログにある連絡先情報をご覧ください。

デルでは、さまざまなオンラインおよび電話サポートとサービスを提供しております。ご利用については、お住まいの国および製品によって異なります。また、お住まいの地域でご利用いただけないサービスもございます。販売、技術サポート、お客様サービスに関する Dell へのお問い合わせ：

- 1 [support.dell.com](https://support.dell.com) をご覧ください。
- 2 ページの一番下にある **(国 / 地域を選択する)** ドロップダウンメニューで、お住まいの国または地域を確認します。
- 3 ページの左側にある **(連絡する)** をクリックします。
- 4 必要なサービスまたはサポートリンクを選択します。
- 5 デルへの連絡方法を選択します。

# 付録：用語集

**ANSI ルーメン** —明るさの単位です。1 平方メートルの画像を、9 つの同じ長方形に分割し、各長方形の中心のルクス（または明るさ）を測定して、9 つの点の平均値を求めて算出します。

**縦横比** —最も一般的な縦横比は 4:3 (4 x 3) です。旧式のテレビやコンピュータビデオの形式は 4:3 縦横比です。つまり、画像の幅は画像の高さの 4/3 倍になります。

**明るさ** —ディスプレイや投影ディスプレイ、または投影デバイスから発する光の量です。プロジェクタの明るさは ANSI ルーメンで表されます。

**色温度** —白光の色を表します。色温度が低いほど暖色（黄色または赤みが強い）であることを意味し、色温度が高いほど寒色（青みが強い）を意味します。色温度の標準単位はケルビン (K) です。

**コンポーネントビデオ** —高品質のビデオを伝送する方法です。ルミナンス信号と 2 つの独立したクロミナンス信号から成り、アナログコンポーネントでは Y'Pb'Pr'、デジタルコンポーネントでは Y'Cb'Cr' と定義されます。コンポーネントビデオは DVD プレーヤーで使用できます。

**コンジットビデオ** —ルーマ（明るさ）、クロマ（色）、バースト（色参照）、シンク（水平および垂直同期化信号）を 1 つのワイヤペアで伝送される 1 つの波形に統合するビデオ信号です。NTSC、PAL、SECAM の 3 つの形式があります。

**圧縮解像度** —入力画像の解像度がプロジェクタのネイティブ解像度よりも高い場合に、画像をプロジェクタのネイティブ解像度に合わせて圧縮します。デジタルデバイスで圧縮すると画像コンテンツの一部が失われます。

**コントラスト比** —画像の明るさの値と暗さの値の範囲、または、最大値と最小値の比率。プロジェクタ業界では 2 つのコントラスト比の測定方法が使われています。

- 1 フルオン/ オフ —完全に白い画像（フルオン）の光出力と完全に黒い画像（フルオフ）の光出力の比率を測定します。
- 2 ANSI —16 の交互に並んだ黒と白の長方形のパターンを測定します。白い長方形からの光出力の平均を、黒い長方形からの光出力の平均で割り、ANSI コントラスト比を算出します。

同じプロジェクタでは、フルオン/ オフコントラストは ANSI コントラストよりも大きい値になります。

**dB—デシベル** — 通常、2つの音響信号または電子信号の間で電力と強度の相対的な差異を表す単位で、2つのレベルの比率の常用対数の10倍に相当します。

**対角画面** — 画面サイズまたは投影画像のサイズを測定する方法です。1つの角から対角線上の角までを測定します。9FT高さ、12FT幅の画面の対角線は15FTです。この文書では、上の例のように、対角寸法はコンピュータ画像の従来の4:3の比率用とみなします。

**DisplayPort**— VESA (ビデオエレクトロニクス規格協会)が開発したデジタルディスプレイインターフェイス標準 DisplayPort はPC、モニタ、テレビディスプレイ、プロジェクタ、ディスプレイコンテンツのその他のソースで、幅広い用途向けに設計されています。

**DLP®— Digital Light Processing™ (デジタル光処理)**— Texas Instruments 社が開発した反射型ディスプレイ技術、小型操作ミラーを使用。光がカラーフィルターを通して DLP ミラーへ伝送されます。DLP ミラーが RGB 色を画面に投影される画像に配色します。DMD とも呼ばれます。

**DMD— digital Micro- Mirror Device (デジタル・マイクロミラー・デバイス)** — 各 DMD は、見えないヨークに取り付けられた数千の傾斜した微視的なアルミニウム合金ミラーから成ります。

**DVI-D— Digital Visual Interface-Digital connector (デジタル・ビジュアル・インターフェイス-デジタルコネクタ)**。

**焦点距離** — レンズの表面からその焦点までの距離。

**周波数** — 電気信号の1秒当たりの周期の繰返し速度です。単位は Hz (ヘルツ) です。

**HDMI— ハイデフィニションマルチメディアインターフェイス** — オーディオおよびビデオ信号用のデジタルインターフェイスで、ホームシアターおよび家庭用電気機器向けのシングルケーブルソリューションとして設定されています。

**Hz (ヘルツ)** — 周波数の単位。

**キーストーン補正** — プロジェクタと画面の角度が不適切なために起こる投影画像の歪み (通常、上部が広く下部が細くなる現象) を修正するデバイスです。

**最大距離** — プロジェクタが、完全に暗い部屋で使用可能な (十分に明るい) 画像を投影できる画面からの最大距離。

**最大画像サイズ** — 暗い部屋でプロジェクタが投影できる最大画像サイズ。通常、光学部品の焦点範囲によって制限されます。

**最小距離** — プロジェクタが画面上で画像の焦点を合わせることのできる最小距離。

**NTSC**— National Television Standards Committee（全米テレビ放送規格委員会）。ビデオおよび放送用の北米規格、525 ライン・30 フレーム毎秒のビデオ形式。

**PAL**— Phase Alternating Line（走査線位相反転）。ビデオおよび放送用の欧州放送規格。625 ライン・25 フレーム毎秒のビデオ形式。

**画像の反転**— 画像を水平に反転する機能です。通常の前向き投射で使用すると、文字や画像などは後ろ向きになります。画像の反転は背面投射で使います。

**RGB**— Red, Green, Blue（赤、緑、青）— 3色それぞれに別々の信号を必要とするモニターを指します。

**S ビデオ**— 4 ピンの小型 DIN コネクタを使って、ルミナンス（明るさ、Y）とクロミナンス（色、C）と呼ばれる 2 本の信号ワイヤでビデオ情報を送信するビデオ伝送方法です。S ビデオは Y/C とも呼ばれます。

**SECAM**— ビデオおよび放送用のフランスおよび国際的な放送規格、PAL に大変似ていますが、色情報の伝送方法が異なります。

**SVGA**— Super Video Graphics Array（スーパービデオグラフィックスアレイ）— 800 x 600 ピクセル。

**SXGA**— Super Extended Graphics Array（スーパー拡張グラフィックスアレイ）— 1280 x 1024 ピクセル。

**UXGA**— Ultra Extended Graphics Array（超拡張グラフィックスアレイ）— 1600 x 1200 ピクセル。

**VGA**— Video Graphics Array（ビデオグラフィックスアレイ）— 640 x 480 ピクセル。

**WUXGA**— Widescreen Ultra Extended Graphics Array（ワイドスクリーン超拡張グラフィックスアレイ）— 1920 x 1200 ピクセル。

**XGA**— Extended Graphics Array（拡張グラフィックスアレイ）— 1024 x 768 ピクセル。

**ズームレンズ**— 可変式焦点距離のレンズで、画像を縮小したり拡大して表示できます。

**ズームレンズ比**— レンズが固定距離から投影できる最小画像と最大画像の比率です。例えば、1.4:1 ズームレンズ比とは、ズームなしの 10 フィート画像が、フルズームでは 14 フィートになることを意味します。

# 索引

## お

オンスクリーンディスプレイ 22

その他 31

ピクチャ (PC モード) 25

ピクチャ (ビデオモード) 26

メインメニュー 23

ランプ 29

言語 30

自動調整 23

設定 24

入力選択 23

表示 (PC モード) 27

表示 (ビデオモード) 28

ランプ 40

画素数 40

環境条件 41

規格 41

均質性 40

互換モード 43

質量 41

消費電力 40

寸法 41

電力供給 40

投影レンズ 40

投影画面サイズ 40

投影距離 40

表示可能な色 40

明るさ 40

## か

コントロールパネル 19

## さ

サポート

デルへのお問い合わせ 44

仕様

I/O コネクタ 41

RS232 プロトコル 42

オーディオ 41

カラーホイール速度 40

コントラスト比 40

ノイズレベル 41

ビデオ互換性 40

ライトバルブ 40

接続ポート

DVI-D 入力コネクタ 7

RS232 コネクタ 7

S ビデオコネクタ 7

USB リモートコネクタ 7

VGA-A 出力 (モニターループスルー) 7

VGA-A 入力 (D サブ) コネクタ 7

VGA-B 入力 (D サブ) コネクタ 7

オーディオ出力コネクタ 7

オーディオ入力コネクタ 7

コンポジットビデオコネクタ 7

セキュリティケーブルスロット 7

電源ケーブルコネクタ 7

## た

デルへの

お問い合わせ 44

デルへのお問い合わせ 5, 19, 20,  
36, 38

トラブルシューティング 34

デルへのお問い合わせ 34

電話番号 44

投影画像の調整 16

プロジェクタの高さ調整 16

プロジェクタを下げる

エレベーターフット 16

エレベーターボタン 16

傾斜調整ホイール 16

## は

プロジェクタのズームとフォーカスの調整 17

ズームタブ 17

フォーカスリング 17

プロジェクタの接続

DVI-D アダプタ 14

HDMI ケーブル 14

HDMI ケーブルでの接続 14

RS232 ケーブル 10

RS232 ケーブルを使ったコンピュータの接続 10

S ビデオケーブル 11

S ビデオケーブルでの接続 11

USB - USB ケーブル 8, 9

VGA - VGA ケーブル 8, 9

VGA - YPbPr ケーブル 13

コンピュータへ 8, 9

コンポーネントケーブルでの接続 13

コンジットケーブルでの接続 12

コンジットビデオケーブル 12

電源ケーブル 8, 9, 10, 11, 12,  
13, 14

プロジェクタの電源を入れる / 切る

プロジェクタの電源を切る 15

プロジェクタの電源を入れる 15

本体 6

IR レシーバ 6

エレベーターボタン 6

コントロールパネル 6

ズームタブ 6

フォーカスリング 6

レンズ 6

## ら

ランプの交換 38

リモコン 21

IR レシーバ 20